



住田 英次 議員

問 北黒田臨海部の道路整備により、民間活力による企業進出に期待する考えは。

答 北黒田臨海部は農業就業者の高齢化が進み、作付けしていない農地や管理されていない農地が目立つようになってきている。

本町の農業振興地域整備計画でも北黒田臨海部の農用地は今後の開発が見込まれる区域になっているが、このまま農用地として維持することが最良とは考えていない。また、この地域は工業地域に隣接しているため、既存工業敷地隣接型の地区計画を策定することで企業進出が期待できると考える。

道路整備により農地を分断することで、農地区分が甲種農地から2種農地に変更し、農地転用できる可能性があり、土地の有効利用へ向けた方策と考える。当該地域は津波浸水被害想定区

域であるため、今後の北黒田海岸の堤防整備状況を踏まえ道路整備や土地利用を検討したい。

問 町道や市道の県道との相互移管は県外ではいくつかの事例がある。本町の、町道筒井徳丸線と役場前の一般県道八倉松前線の相互移管による地域経済の活性化に取り組み考えは。

答 相互移管ができれば、現在の町道筒井徳丸線が県道となることで沿道にサービス施設の立地も可能となり、地域経済の活性化につながるかと考える。

町道と県道の相互移管は難しい要件であるが、実現に向けて研究し、町道筒井徳丸線沿線の活性化について検討したい。

意見 相互移管により筒井徳丸線を県道にすることは、本町の舗装補修の負担軽減や、県による東への道路の延伸も期待できるのでは。



今後のにぎわいに期待



伊賀上 明治 議員

問 なぜ県内で本町だけが、いまだに入札時の予定価格を事前公表にしないのか。

答 令和元年、本町で発生した官製談合事件を受け検討の結果、事前公表のデメリットの方が大きいと判断し、継続することとした。私が町長でいる間は変える気は無い。

問 予定価格を事前に公表しないことで、不祥事対策はできていると考えているのか。

答 事件発生後、副町長から綱紀粛正の訓示を行い、全職員を対象とした公務員倫理研修を実施した。公務員倫理の徹底を図るため、松前町職員倫理条例や公共工事等発注担当者の倫理の保持を図るため、松前町公共工事等発注担当者倫理規程を制定した。

問 町長自身は業者との関係を、どのように律しているのか。

答 利害関係を有する業者と必要以上に親しい関係にならないこと。今後も町民に疑惑や不信を招く行為を慎み、公平公正な町政を推進していく。

問 町民に疑惑を持たれない行動をしているというが、今年の2月の道後の某ホテルでの町内業者との食事を開いたと聞いたが。

答 疑惑を招くような会合ではない。10人位の会で、業者と二人だけで会うようなことはしていない。一点のやましいことはない。

問 松前町から同じタクシーで業者と一緒にいる。町長と副町長が設計単価を知っている。町民に疑惑を持たれないようにするのが町長の仕事では。

答 町長と副町長は設計単価を知っているが、設計額に一定の調整率を掛けて予定価格にしている。

意見 せっかく制定された松前町職員倫理条例もこれでは、絵に描いた餅。疑惑を持たれることをやめることから先ずは進めていくべきでは。